

# 産業 タカラ バイク部品を防さび塗装 新サービス「錆びないライダーズ」

トラック部品製造のタカラ産業（渡邊哲史社長、富士市五貫島）はバイクの部品などに防さび塗装を施すサービス「錆（さ）びないライダーズ」を始めた。

オン電着塗装の技術を生かし、愛車のメンテナンスやオリジナル性を求めてドレスアップしたい一般のバイクユーザーに売り込む。カチオン電着塗装は自動車産業とともに発達してきた塗装技術で、

エポキシ樹脂系の塗料に被塗物を浸し、電流を流して電氣的に塗着させ、その後焼き付けて固める。電着されるため、被塗物と塗料の密着性が良く、他の塗装やメンキに比べてさびに強いのが特長。

受注の流れは、被塗物の写真を送ってもらい、サイズや形状、さび、表面処理の有無などを調査後、概算見積もりを提示する。受注が決まれば品物を送ってもらいカチオン電着塗装を施す。完成後は写真を送信後に支払い、発送となる。



カチオン電着塗装を施したバイクのホイール

塗装できるのは通電するもので、90センチ×60センチ×50センチ以内、25センチ以下であることなどが条件。形状によつては出来ないものもある。バイクのホイール、ハンドル、ブレーキレバー、リアキャリア、キックペダルなどを対象とす

るほか、釣り用品やガーデニング道具などの受注にも応じる。塗装色は黒。  
価格はサイズ、形状、状態で異なるが2000円から設定。ホイール1個当たりでは5000円から。メッキの剥離（はくり）やさび落とし、上塗りは別途料金がかかる。  
期間は品物の形状や状態にもよるが最短で

2〜3日程度。通常10日間あれば完了する。カチオン電着塗装の

下地塗装した後で別の色を重ね塗りすることも可能。

タカラ産業 ☎615500、Eメール info@takara-co.com